

ぱれっと

2007
11月

No.99

今月は、いつもの「ぱれっと」と違います！
(どこが違うかは、中を見てのお楽しみ…)

■ 目次 ■

P. 2～3 市民活動シアタータイアップ企画
シアター

「Moveー 街で出会う」が始まります！

P. 4 サポセン日記

P. 5 サポセンに強力な助っ人登場！

「はあとぼーと仙台」ーサポセンでのボランティア活動ー

サポセン広場

P. 6 アラカルト 8/28 小さな市民活動団体のための運営の秘訣シリーズ
第2弾「同志編」報告

P. 7 イベント紹介

P. 8 お知らせ など

シアターを第一線で活躍する
アートディレクターが彩る！

会議で何も決まらない？
発言する人がいつも同じ？
心当たりのある方、必読！



サポセンひとコマ

サポセンでは毎月様々な講座を開催しています。
写真は市民活動シアターオープン1周年記念
「アートの子カラ」の様子です。

市民活動シアタータイアップ企画



昨年9月にオープンした「市民活動シアター（以下、シアター）」は、誕生1周年を迎えました。11月から新たな取り組みとして行われる「市民活動シアタータイアップ企画」についてご紹介します。

シアター
街で出会うが始まります！

■シアタータイアップ企画とは？

サポセンでは、より多くの市民の皆さんに、シアターの魅力や可能性を知っていただく機会として、演劇、アートなどの第一線で活躍している3名、1団体のディレクターをお招きし、サポセンとディレクターによるタイアップ企画を実施します。

シアターは、自由度の高い平土間スペースとなっており、コンサート、演劇、上映会、シンポジウム、ダンスなどジャンルを越えて、幅広く利用できるスペースです。

そこで、タイアップ企画では異なる分野で活躍しているディレクターの方々に、11月～2月までの期間、シアターの新たな魅力を引き出すような幅広い内容のプログラムを企画していただきました。

ジャンルも内容も異なるそれぞれのディレクターが創り出す企画を、ワクワクするときめきとともに皆さんへお届けします。ぜひ、新たなシアターとの出会いを体験しに来てください！（担当：内川奈津子）

11月の
企画内容

11/21(水) ディレクター:八巻寿文 プレゼンツ
「モノ書きたち、語る」 演劇プロデュース公演制作発表

すぐれた新作戯曲を舞台化して10年目の「演劇プロデュース公演」。仙台劇のまち戯曲賞で大賞を受賞した『ミチユキ→キサラギ』の制作発表を行います。

全国公募から選ばれた劇作家・中澤日菜子（東京）と演出家・大信ペリカン（福島）が、仙台の舞台人と火花を散らします！

街で、サポセンで、シアターで、その全貌を明らかに——

◆演劇プロデュース公演『ミチユキ→キサラギ』制作発表（一般公開） 19：00～19：30

◆鼎談「モノ書きたち、語る」 19：40～20：30

入場無料

参加予定(敬称略)：中澤日菜子（第3回仙台劇のまち戯曲賞大賞『ミチユキ→キサラギ』劇作家）、大信ペリカン（『ミチユキ→キサラギ』演出家）、和合亮一（詩人）

八巻寿文さんにインタビュー！

Q. 制作発表ってどんな企画ですか？

10年目を迎える演劇プロデュース公演「ミチユキ→キサラギ」の制作発表です。今回の公演は全国公募の戯曲（東京）と演出（福島）で、仙台の役者とスタッフによるメイドイン仙台の演劇公演を行うという企画です。

街中には、人が集い思いを伝える場所「劇場」が不可欠です。せんだい演劇工房10-BOX※という台所で作品を完成させ、劇場という応接間でもてなすわけですが、仙台で作られた演劇を発表するのに適した劇場として「エル・パーク仙台」と、ここ「サポセン」が考えられます。

どちらもコンセプトをもった施設ですが、広く一般に楽しめるシアターに人が集い、その背景に施設のコンセプトが透けて見え、奥行きのある出会い方が人と施設の良い関係を作ると思います。サポセンがシアターを持った意義を、あらためて

実感できる催しにしたいと思い企画しました。思うに「サポセン」は、台所と応接間を併せ持った現代のダイニングキッチンになるかもしれませんね。

※せんだい演劇工房10-BOX：「試しながらじっくり演劇を創る空間」をコンセプトに運営されている施設。大小様々な稽古場から、舞台装置を作るための作業場、戯曲などの資料等が揃っている。

Q. 企画の見どころと、ぱれっとの読者へ一言をお願いします。

マスコミへの制作発表が一般公開されますので、臨場感が味わえます。

次に行う鼎談では、普段はあまり出会えない物書きの世界観をのぞきにきてください。

■ディレクターとテーマ

月	テーマ	ディレクター	
11月	演劇	八巻寿文さん (せんだい演劇工房10-BOX二代目工房長) 仙台市出身。高校卒業後、フランスへ留学。帰国後は舞台照明の仕事しながら画家として活動。1987年(財)仙台市市民文化事業団嘱託職員としてエル・パーク仙台に勤務(1989年より正職員)。1997年仙台市青年文化センターへ移動。2002年よりせんだい演劇工房10-BOX勤務となり、2005年より現職に就く。エル・パーク仙台や青年文化センターを活用し舞台技術者の育成を手がけ、10-BOXの理念づくりに関わる。2002年のオープン以来中心的な役割を担い、演劇と社会のパイプ役として様々な活動を展開している。	
12月	ビジュアルアーツ	村上タカシさん (美術家) http://murakamix.com/ 熊本生まれ。萩原英雄より版画を学ぶ。1986年より畳やお米を使った作品など美術家として東京で活動を開始。国内外の展覧会やアートプロジェクトに参加。これまでの作品としては、「内から外への弧に近い運動」「オリーブの祈り」「アーツ・センター構想」「MIDOMARU」「TANABATA列車」「村上いろは研究室」やビデオ「IZUMIWAKU Video1994」やCD-ROMの制作も行う。また、東京杉並区で1994・1996年のIZUMIWAKU project《学校美術館構想》展や「ヨーゼフ・ボイスと10年」、2003年より仙台でTANABATA.orgARTprojectなど数々の学校やまちを使ったアートプロジェクトを企画実施。最近では「プロジェクト型のアートワーク」を含め芸術普及や文化・教育政策をテーマに文化施設等でレクチャーやワークショップなども行う。	
1月	身体表現のワークショップ	特定非営利活動法人オハイエ・プロダクツ (予定)	※1月と2月のタイアップ企画の内容は、11月頃にサポセンや公共施設等に配布するチラシにて、みなさんにご紹介させていただきます。ご期待ください！
2月	まちとアート	吉川由美さん (演出家・プロデューサー) (予定)	

12月の
企画内容

12/21(金)～12/23(日) ディレクター:村上タカシ プレゼンツ
アークリ(achri)「アートなクリスマスのためのプロジェクト」

- 1: 空間全体を使用した参加型アート作品 (音+映像+立体)
- 2: アートグッズ+マルチプル※展
- 3: 仙台宮城のアートプロジェクト紹介
 (S-A-P) 仙台アートシティプロジェクト・
 GOTEN GOTENアート湯治祭・ジャオフェス他

入場無料 ※22(土) 18:00～のみ 500円1ドリンク付き

参加(敬称略): タノタイガ・KOSUGE1-16・門脇篤・牛乳・高橋周吾・
 及川潤耶・SENDAIcompleX、その他ゲストあり

開催日時

- 21日 (金) 13:00～22:00
(公開制作)
- 22日 (土) 13:00～22:00
(18:00～DJ/VJあり)
- 23日 (日) 10:00～15:00

※マルチプル…一点モノの作品ではなく程々に量産され全てがオリジナルの作品群

村上タカシさんにインタビュー!

Q. 「アークリ(achri)」ってどんなアート展ですか?

12月、仙台のまちでは光のページェントなども開催中で、アートなクリスマスのためのプロジェクトを計画中です。空間全体を使用した参加型アート作品(音+映像+立体)や仙台・宮城のアートプロジェクトなども紹介します。またアート好きの学生会議、夜にはDJ/VJなどアートなパーティも企画。期間限定でオープンするエル・パーク仙台の現代美術専門のギャラリーとも連動予定です。

Q. 企画の見所と、ぱれっとの読者へ一言をお願いします。

観るだけではない現代美術の体験空間ともなりますが、アートグッズやマルチプル作品などアートなクリスマスプレゼントを見つけることもできます。アートを身近に感じ、みんなでアートを楽しんでください。

※各プログラムのお申し込みは、仙台市市民活動サポートセンターでは受け付けておりません。
 各主催団体へ問い合わせのうえ、直接お申し込みください。

11月 「モノ書きたち、語る」
演劇プロデュース公演制作発表 問合せ先
 主催: 財団法人仙台市市民文化事業団
 せんだい演劇工房10-BOX
 022-782-7510

12月 **アークリ(achri)**
「アートなクリスマスのためのプロジェクト」問合せ先
 主催: SENDAIcompleX
 070-6970-1976/mmix@mac.com
 詳細情報URL: <http://blog.livedoor.jp/sendaix/>

◆サポセンのサービスいろいろ。
どんなふうに見えるのか紹介します！

サポセン日記

今月のテーマ

～ 骨プロ ～

イベントチラシは、
サポセンの「骨プロ」で広報を！！

●「骨プロ」って？

正式には、“仙台に情報の背骨を通すプロジェクト”という事業名です。略して「骨プロ」と呼んでいます。

仙台では多くの市民活動団体が、街をもっと良くしようと日々活動しています。このような活動をしている団体は仙台の街にとって大切な存在です。「団体の情報を、多くの市民の手にお届けしたい」という思いから、サポートセンターを含め仙台市の9つの公共施設では、市民活動の情報発信をサポートし、情報が街全体に行き届くよう、2005年6月からイベントチラシをお届けする「骨プロ」の取り組みをはじめました。

サポセンにチラシを持ってきていただければ、サポセンのほか表中の8施設に自動的にチラシが発送され、各施設で配架されます。

●発送するにはどうするの？

①イベントや講座などのチラシをサポセンまでお持ち下さい。

Q. いつまでに？

A. 開催日の一ヶ月前を目安に、チラシをお持ちください。開催日が近すぎると、発送が間に合わない場合があります。

Q. どれくらい？

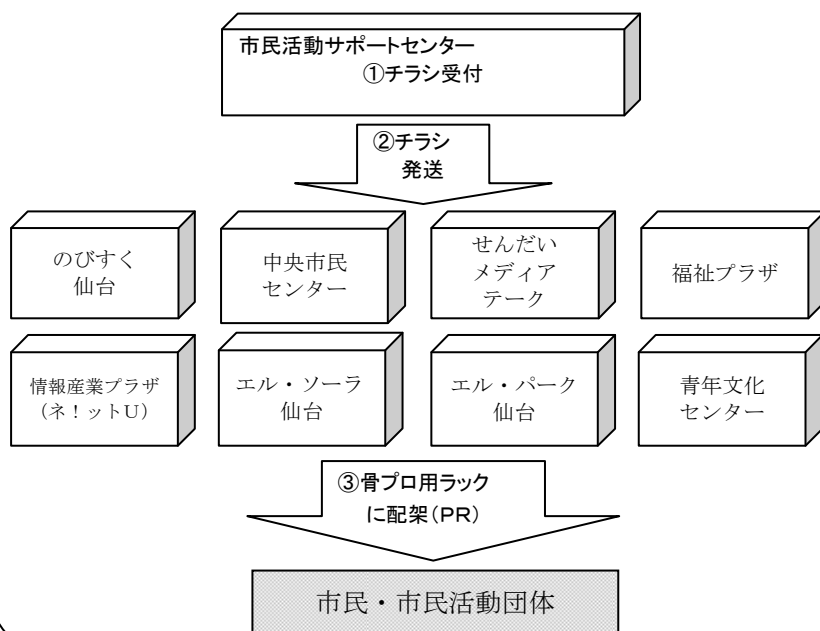
A. 各施設に20部として、200部程度を上限にお持ちください。また、骨プロ以外にもサポセンにはラックがありますし、三階のシニア活動支援センターへもチラシを配架することができます。

Q. どんなチラシでもいいの？

A. NPOやボランティアグループのみなさんが開催する日付の入ったイベントチラシを受け付けています。スタッフがチラシを見て直接お話を伺って、お預かりできるか判断しています。また、スペースに限りがあるため、期限のないチラシのほか、パンフレットやニューズレターはお預かりできません。



<骨プロ チラシサポートのしくみ>

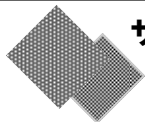


②お預かりしたチラシを、週に一回、各施設へ発送します。

③各施設にある「骨プロラック」に配架されます。

サポセンスタッフ一言コメント！

「骨プロ」はサポセンのサービスの目玉の一つです。その他にも、ここサポセンには印刷機や紙折り機、裁断機といった機材が揃っています。チラシの印刷から発送作業まで、サポセン一箇所で済ませる方もいらっしゃいますよ。イベントの広報担当になった方、ぜひサポセンをご利用ください！
(担当：千葉やす恵)



サポセンに力強い助っ人登場！

「はあとぼーと仙台」 —サポセンでのボランティア活動—



■サポセンにボランティア現る！

サポートセンターでは、「はあとぼーと仙台（仙台市精神保健福祉総合センター）」（以下はあとぼーと仙台）のボランティアを受入れています。

「はあとぼーと仙台」とは、市民の精神保健の向上や精神障害をお持ちの方々への福祉の増進を図ることを目的として、精神保健福祉相談、電話相談、精神科デイケアなどを行っている施設です。

デイケアでは、精神障害を持つ方がリハビリテーションの一環として平日通所し、様々な活動を行っています。今年度、デイケアの新しい事業として通所者が地域での交流を行い、社会性を高めることを目的として外部でのボランティア活動を始めることになり、サポセンでは今年5月から1年間の期間で受入れをすることになりました。

■どんな活動をしたの？

5月から9月までの前期では、9名のメンバーが3つのグループに分かれて、1グループずつ毎週月曜日の午後2時間程度、サポセンの内部作業をお手伝いしてもらいました。

例えば、貸出図書を見やすいように五十音順に整理したり、サポセンで発行しているニューズレターの発送作業、団体情報ファイルの背表紙を新しく交換する、団体の活動状況などがわかる団体紹介シートの更新作業など、サポセンをより利用しやすくするための細かい作業をやっていただきました。一生懸命かつ積極的にやっていただき、サポセン側の次の準備や段取りが追いつかなくなることもありました。

■ボランティア活動で得たもの

9月10日には前期で活動したメンバーとこれまでの活動のまとめを行いました。ボランティアの中には以前就労していた方もいましたが、その方たちにとってもサポセンでの作業は初めての体験だったことが多く、「はあとぼーと仙台」の施設内での作業とは違った経験になったようです。メンバーからは「サポセンでのボランティア活動が自信につながり、今後やってみたいことが生まれてきた」「以前は仕事をしていた時には仲間と協力することなど考えなかったが、仕事は仲間と協力しながらするものだと実感できた」などの感想もあり、それぞれに得たものがあったようです。

私たちサポセンスタッフもこの受入れを通して学ばせていただいています。どんな小さな仕事でも大切な仕事だという意識を持って取り組む姿勢に、改めて新たな気付きをいただきました。また、社会には健常者だけではなく障害を持つ人々もいて、就労や社会とのつながりを持って生活する現状やその難しさがサポセンの窓口で得る情報だけでなく、実感としてわかってきました。

■今後に向けて

今後もサポセンでのボランティア活動を通して、少しでも社会とのつながりを持つきっかけづくりや新しい可能性をみつけることができるよう応援していきたいと考えています。10月からまた新しいメンバーでの後期の活動が始まります。みなさん、サポセンで見かけたときは温かい目で応援してくださいね。よろしくお祈りします。
(担当：伊藤浩子)

サポセン広場

◆利用者の皆様から寄せられた声にお応えします。

貸室の前にある案内板にマーカーで書いたら、なかなか消えなくて困った。

案内板の行事予定を表示する部分はガラスでできており、紙を挟みこむようになっています。マーカーで書くと消えませんので、必ず、記入したい事を紙に書いて挟むか、ガラス部分に貼っていただきますようお願い致します。

マーカーをご利用になる場合は、貸室前の案内板とは別に行事などを記入する小さめで縦長のホワイトボードが部屋に備え付けられていますので、こちらへご記入ください。

アラカルト

◆市民活動の旬の話題やサポセンで開催された講座の報告など、毎月いろいろなテーマでお送りします。

NPO・小さな市民活動団体の運営の秘訣シリーズ 第2弾 同志編 報告

日時：2007年8月28日(火)18：30～21：30
場所：仙台市市民活動サポートセンター セミナーホール
講師：青木将幸氏 青木将幸ファシリテーター事務所 代表

アイスブレイク！参加者の状態を知る

話しやすい雰囲気作りに

1. 「座標できく」ワーク

まずは、アイスブレイク※を兼ねたワークショップで自由に発言できる雰囲気をつくります。

【方法 一例として】

- ①部屋の中に縦と横の軸を設定します。(図1参照)
- ②縦軸：体調の良し悪し、横軸：心の調子の良し悪しとして、縦軸と横軸の接点(中心)に目印を置き、参加者が自分の現状に当てはまる座標軸へと移動します。
- ③移動後、近くにいる人と二人一組になり、「なぜそこに立っているのか」自己紹介をかねて話します。

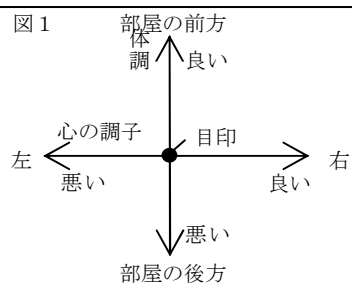
※ワークショップなどの前に行われ、参加者間の緊張を解きほぐし、スムーズな進行を促すために用いられる手法。

【注意】

「意志を表示したくない人はその場に座ってください」という選択肢も用意し、無理強いしないようにします。また、意思表示することが参加者の不利益に直結する状況では行なわないようにします。

このような体の状態、心の状態についてたずねるワークを会議の前に導入すると、参加者の体・心の状態を把握して、気づかって会議を進めることができます。

また、「座標できく」ワークを使えば、いつも発言する人だけでなく、参加者全員の意見を確認することができます。室内の移動が困難な場合でも、腕をあげる角度を変えて意思表示してもらえば、参加者全員の意見を視覚的に確認することができます。



3. よく発言する人と、発言しない人に分かれることを 解消するためのワーク

発言者が偏らないようにする

会議の場では、「2対8の法則」といって、2割の参加者が発言し、8割の参加者は発言しないという状況になりやすいものです。全員の意見や理解度を確認するためのワークをやってみましょう。

【方法 一例として】

- ①参加者全員に用紙を配り、聞いてみたいこと、知りたいことを書いてもらいます。
- ②紙に書いたことを発表しながら紙を提出します。
- ③発表されたことについて、参加者同士で意見交換をします。

市民活動団体にとって、ミッションに向かって足並みをそろえることは大切ですが、会議での決定に時間がかかったり、発言する人が偏ってしまうなど、意思の疎通に手間取っている団体も多いのではないのでしょうか。

運営の秘訣シリーズ第2弾「同志編」は青木将幸氏を講師に、3つのワークショップを体験しながら、より良い会議のあり方とスムーズなコミュニケーションの取り方を学びました。今回は、講座で取り上げた今すぐ役立つ3つのワークを紹介します。

2. 「二人一組で話す」ワーク

国際会議などでは参加者が何百人にもなることがありますが、会議が成り立つ最少人数は二人です。二人でしっかり意思の疎通がはかれることが会議の基本です。二人一組で話してみましょう。

【方法 一例として】

- ①初めて話す人・興味のある人を選んで二人一組になります。
- ②アイスブレイクとして、5分程度、お互いに自己紹介をします。
- ③3分間で二人の間にある共通点を3つ以上みつけます。
- ④各組でみつかった共通点を発表します。

今回の参加者からは、「意見を言わないと気がすまない」「山歩きが好き」「喫茶店に一人で入れない」「日本犬を飼っている」など、性格から趣味、普段の行動、家庭環境まで、たった3分でいろいろな話が出ました。このように、大勢の前では発言しにくくても、二人でなら話せることが多いので、シンポジウムなど多くの人が参加する会議の開始前などに導入すると、話しやすい雰囲気づくりができます。

今回のワークでも、多くの質問とそれに対する意見、講師の返答が出ましたので、その一部を紹介します。

- Q. 課題が多いのに、おしゃべりな人がいて会議が進まないんですが。
- A. 進行役に脱線を注意してもらいましょう。タイムテーブルをつくって何時まで何を決めるかわかるようにするのも効果的です。また、脱線した発言は、ホワイトボードのすみに書いて、脱線していることをしらしめると、脱線が減ります。
- Q. 何時間も話をしているのに、何も決まらないのはなぜ？
- A. 会議資料を工夫しましょう。現状と今日決めることを書きます。タイトルには目標まで書くようにします。例えば「シンポジウムについて」ではなく、「シンポジウムの講師を誰にするか」と具体的に書きましょう。また、貸室など終了時間が限られているところで会議をしたり、終了時間の後に食事会などのお楽しみを設けると、時間内に会議が終わります。

青木将幸氏のリードによる3つのワークを通して、参加者のみなさんは、誰もが発言できる会議のあり方について学びました。団体内での意思の疎通や、これまで抱えていた会議の悩みを解消するための糸口を見つけたようです。みなさんもぜひ、お試しください。(担当：太田貴)

イベント 紹介 11月



- サポートセンターで行われる、参加者募集中のイベントを紹介します。
- 原則として各団体に提出していただいた文章をそのまま掲載しています。
- 毎月5日締め切りで、翌月サポートセンターを会場に開催するイベント情報を募集しています。掲載をご希望の方はお問い合わせください。

開催日	時間	イベントタイトル	貸室	参加費	主催	問い合わせ先
11/1 ～	18:30 ～ 21:00	あなたも手技を学んでみませんか 手軽に出来るフットケアはポラン ティアや健康管理に活用出来ます	研修室 3	全6回 受講料20,000円 認定・申請テキ スト代10,000円 教材費7,000円 (事前申込必要)	JRFA足市場	Tel 022-223-9023 090-7564-9831 Fax 022-223-9023 (森)
11/4・ 11/18	13:20 ～ 16:30	4日(日): 図工・理科・交流 修了パーティ(500円)あり 18日(日): 算数・社会・交流	4日: 市民活動 シアター 18日: セミナー ホール	1,000円 (事前申込必要)	シニア元氣 笑学校	TEL 022-248-3765 FAX 022-248-3775 (渡辺源治) ※申し込みは FAXで
11/5・ 11/12・ 11/19	13:00 ～ 15:00	定年後、趣味個性を活かし一人ビジ ネス講座～セカンドステージは個性 を活かし心豊かに自己実現～	研修室 2	500円(全3回・ 資料代) (事前申込必要)	宮城県社会福 祉協議会 (いきいきS UNクラブ)	TEL 022-223-1171 FAX 022-223-1151 (八嶋 豊)
11/12	14:00 ～ 15:30	虫の視線で見る生物多様性 ～カミキリムシ学への招待～	セミナー ホール	無料 (事前申込不要)	宮城県 技術士会	TEL 022-723-3755 FAX 022-723-3812 (吉川)
11/17・ 11/18	10:00 ～ 16:00	仲間と助け合いながら依存の問題や 人間関係から回復と成長をする会。 カウンセリングのみも可。	17日: 研修室1 18日: 研修室2	参加費: 問い合わせ (事前申込必要)	サポートの会	TEL 022-356-3785 FAX 022-356-3785 (坂上知恵)
11/21	19:00 ～ 20:30	デザイン力アップのための実践講座	研修室 2	1,000円 (事前申込必)	メディア デザイン	TEL090-3049-0613 FAX 022-224-5308 (千葉)
11/22	19:00 ～ 21:00	下地勇 SOLO tour ATARAKA UVA to BURN 07	市民活動 シアター	3,500円 (事前申込必要)	カフェ ミルトン	TEL 0224-26-1436 FAX 0224-26-1436 (三浦敦子)
11/23	14:00 ～ 17:00	ぼくらの課外授業 - Living Together in Sendai - Show, Reading, and more. . .	市民活動 シアター	入場無料 1drink 500円 (事前申込不要)	東北HIV コミュニケー ションズ	TEL 022-298-8532 FAX 022-298-8532 (山田大介)

仙台市シニア活動支援センターからのお知らせ

■ 専門相談<無料・要申込>

相談日	テーマと相談員
11 月	10日 (土) 福祉系NPOを紹介します! (特活)グループゆう 代表 中村祥子さん ほか
	22日 (木) 農のある暮らし応援します! 仙台市農業園芸センター 職員の方 ほか2名

サポセンの3階にある
シニア活動支援センターからの情報をお届けします!

■ シニアサロン<参加費1500円(ワンドリンク付) 要申込>

「趣味が高じて地域貢献」
～趣味を生かした活動をしたい方、大集合～
○ゲスト:
(社) 日本山岳会宮城支部 会員 高橋二義さん
今、子供たちと暮を! 宮城の会 スタッフの方
○日 時: 11月26日(月) 18:30～20:30

□ 仙台市シニア活動支援センター TEL:217-3983

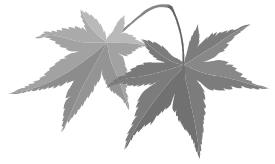
お知らせ

交流サロンが1日Cafeに！

11/11(日)の交流サロン(3・5階)は

通常の利用ができません。

せんだいCARES実行委員会との共催事業に伴う交流サロンの利用について



11月11日(日)はサポートセンターとせんだいCARES実行委員会が連携し、サポセン全館を共催事業『まるごと「サポセン」・まる一日「せんだいCARES」』で使用致します。それに伴い、3階および5階の交流サロンは通常のご利用ができません。ご不便をおかけしますが、ご了承くださいませようお願い申し上げます。

●せんだいCARESって何？

仙台を良くしようと活動しているNPOに、市民や企業が一緒に参加することで仙台をより住みやすい街にしていくためのCARE(お世話)をしようとする取り組みです。毎年11月の1ヶ月間に開催され、今年で5回目になります。

●交流サロンで何をしますの？

NPO Cafeを開催します！
主にせんだいCARESに参加している団体が、フェアトレードのコーヒーや手づくりのクッキーなどを出店するほか、活動のなかで作った作品の展示を行います。一味違ったサポートセンターをお楽しみください！

編集後記

はあとぼーと仙台のボランティアさんには、たくさんのお手伝いをしていただき、利用しやすいサポセンづくりへ一役買っていただいています。日頃の活動に感謝です！(本田ふみ)

サポートセンターのクリッピングサービスを知っていますか？市民活動に関するマメ知識、お伝えします。ホームページからダウンロードもできますよ！(千葉やす恵)

仙台市市民活動サポートセンターとは

さまざまな分野の市民活動団体やNPO法人、ボランティアなど、非営利で公益的な活動をしている人たちが、これから活動しようと考えている人たちのための拠点施設です。

- 開館時間 平日／午前9時～午後10時
日曜・祝日／午前9時～午後6時
- 休館日のお知らせ(施設点検等のため)
10/31(水) 11/28(水)

サポートセンターのサービスあれこれ

- 貸室
(研修室・セミナーホール・市民活動シアター／有料)
打合わせ、講演会、シンポジウム等で使えます。
- ロッカー(有料)レターケース(無料)事務用ブース(有料)
- 交流サロン
少人数の打合わせに予約なしで使えるフリースペース(無料)
チラシ・ポスターの掲示、展示スペース
インターネット接続スペース(要申込／無料)
- 情報サロン
市民活動団体に関するさまざまな情報があります。
市民活動相談の受付や図書の開覧・貸出も行っています。
市民活動に関する情報収集用インターネット閲覧(無料)
- 印刷作業室
印刷機(紙持ち込み)／1製版100円、紙折り機(無料)
コピー機(1枚10円)

■ 問い合わせ先 ■

発行：仙台市市民活動サポートセンター
(指定管理者：特定非営利活動法人せんだい・みやぎNPOセンター)
〒980-0811 仙台市青葉区一番町四丁目1-3
TEL:022-212-3010 FAX:022-268-4042
ホームページ <http://www.sapo-sen.jp>

発行日：2007年10月24日
編集：特定非営利活動法人 せんだい・みやぎNPOセンター
編集人：本田ふみ 千葉やす恵

- ★古紙100%使用再生紙を使用しています。
- ★大豆油インキを使用しています。



仙台市市民活動サポートセンターは、特定非営利活動法人せんだい・みやぎNPOセンターが仙台市の指定管理者として、管理運営を行なっています。
指定管理期間：2007年4月1日～2010年3月31日

■ 案内図 ■



- ご来館の際は、公共交通機関をご利用ください。
[最寄のバス停]電力ビル前、商工会議所前、
広瀬通一番町前、地下鉄広瀬通駅前
[地下鉄]広瀬通駅西5番出口すぐ
□当施設に駐車場・駐輪場はございません。
お車や自転車でお来館される方は、
周辺有料駐車場・駐輪場をご利用ください。
注)路上駐車は周辺の迷惑となりますのでおやめください。